

岩木川 五所川原地区消防との合同点検

★除雪の前に、送油管にはポールなどの目印を設置！
★油のタンクや配管は定期的に点検を！



〔御願ひ〕大規模油等タンクの所有事業者の皆様へ
岩木川水系水質汚濁対策協議会〔青森河川国道事務所〕・五所川原地区消防事務組合

先般、除雪作業中に大規模油等タンクを有する施設の配管を損傷し、重油800㍓が流出するという水質事故が発生し、河川に流出しました。この事故に伴い、利水権や環境等への影響が懸念され、マスコミでも大きく報道されました。幸い、原因者・関係機関の流出拡大防止措置により、影響はありませんでしたが、今後も除雪等の作業により、水質事故が懸念されるため、注意喚起のためお知らせしますので、貴設備の確認と事故発生時には迅速な連絡を御願ひ致します。

➢ 除雪作業においてビニールハウス脇の送油管に気づかず、送油管を破断。
 ➢ 事故発生時には送油管の破断に気づかず、1日後に一般住民からの通報により、河川への油流出判明。
 ➢ 社会的な影響が大きいため、新聞に大々的に報道された。(社会からの批判の目にさらされる。)
 ➢ 現在も処理継続中。

水質事故の概要

損傷原因

- 送油管位置を把握していなかった
- 送油管に目印を設置していなかった

事故を防ぐには

- 除雪前に、除雪作業の支障となる物件について把握しておく。
- タンクや突出している送油管が屋外にある場合は、冬期間(除雪前)に赤白着色の竹竿等の目印を付けたり、突出部分を損傷防止のため囲ったり、側溝内に敷設するなどの保護措置をする。また、地下配管とする。
- 日頃から施設の点検を定期的に行なう。(老朽化による損傷もある。)

事故が発生した際の措置

原因者

- 発生源の流出防止対策と原状復旧(土の入れ替え等)。

油の処理等

- 油が河川に流出した際は、被害を防止するためにオイルフェンスや吸着マットを設置し、下流への流下防止及び油回収の措置を講じます。

費用負担について

- 事故の状況によっては、多数のオイルフェンスや吸着マットの設置が必要となり、多額の費用がかかります。
- 措置に要した費用及び被害があった場合の損害は、原因者負担。(実績:数十万円から数百万円程度)

平成29年9月に平川市内で、12月には中泊町内で事業所の配管から大量の油流出事故が相次いで発生しました。再発防止対策を図るため、岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会では翌年1月に五所川原地区消防事務組合と連携して大規模なタンクを所有する事業所を対象に送油管などの設備の点検を行い、チラシを配付しました。